プレスリリース

報道関係各位

アルジェニクスジャパン株式会社
2026 年 11 月 16 日

本資料はアルジェニクス社（ベルギー本社）が 2026 年 11 月 9 日（現地時間）に発表したプレスリリースを日本語に抄訳したもので、報道関係者の皆様への参考資料として提供するものです。本資料の正式言語は英語であり、その内容および解釈については英語が優先されます。原文は argenx | News をご参照ください。

アルジェニクス社、Unnatural Products, Inc.を買収へ　ペプチド創薬基盤を加え免疫領域の研究開発能力を拡充

- Unnatural Products, Inc.（UNP 社）のペプチド分野の専門性とアルジェニクス社の抗体エンジニアリング技術を融合し、新たな生物学的メカニズムを標的とするアプローチを拡充

- 経口薬や長時間作用型治療薬の可能性を広げ、アルジェニクス社の免疫領域におけるイノベーションをより多くの患者さんへ届ける

- 2 年以上にわたる協業と投資を基盤に、UNP 社は今後も現在のチーム体制のもと、カリフォルニア州サンタクルーズを拠点に事業を継続し、これまでの成功を支えてきた、サイエンスを最優先する文化を維持

アムステルダム（オランダ）2026 年 11 月 9 日— 免疫学イノベーションカンパニーであるアルジェニクス社（Euronext & Nasdaq: ARGX）は、Unnatural Products, Inc.（以下「UNP 社」）を買収する契約を締結したことを発表しました。UNP 社の買収により、大環状ペプチド創薬基盤が加わり、アルジェニクス社の免疫領域におけるイノベーション創出の能力が拡充されます。既に UNP 社の少数持分を保有するアルジェニクス社は、契約一時金およびマイルストーン支払いを含めた UNP 社の評価額を最大約 11 億 5,000 万米ドルとする取引により、残りの全株式を取得します。本買収により、アルジェニクス社は、新たな生物学的メカニズムの探究や、重篤な免疫介在性疾患の患者さんに向けた経口薬または長時間作用型治療薬の開発に取り組むためのアプローチを拡充します。

アルジェニクス社の最高経営責任者であるカレン・マッセーは次のように述べています。「私たちは、免疫領域におけるイノベーションをリードする企業になることを目指しています。アルジェニクスが次の成長段階へ進む中、患者さんにとって最も大きな価値をもたらす領域を見極め、規律ある投資を行っています。UNP 社がもつ大環状ペプチド分野の技術力は、私たちの抗体エンジニアリング技術を高度に補完し、経口薬や長時間作用型治療薬の新たな可能性を切り拓きます。2 年以上にわたる協業を通じて、サイエンスを第一に考え、起業家精神を持ち、患者さんを中心に据えるという姿勢が、両社で強く一致していることも分かっています。UNP 社の成功を支えてきたものを維持しながら、両チームの力を結集していきたいと考えています。」

UNP 社の最高経営責任者兼共同創業者であるキャメロン・パイ博士は次のように述べています。「本日は UNP にとって極めて重要な節目であり、私たちの科学者、社員、共同研究者、そして支援者による卓越した取り組みの成果を示すものです。創業当初から、自社のプラッ

アルジェニクスジャパン株式会社
107-0052 東京都港区赤坂二丁目 5 番 8 号
ヒューリック JP 赤坂ビル
www.argenx.jp

トフォームには、新薬の探索と設計における可能性を再定義する力があると信じてきました。当社のチームがこれまで成し遂げてきたことを大変誇りに思います。アルジェニクス社は、革新的な治療法を患者さんに届けるという私たちのビジョンをさらに加速させ、より大きなものへと発展させていくための理想的な環境を提供してくれると確信しています。」

買収完了後も、UNP 社のチームおよび経営陣は、カリフォルニア州サンタクルーズの拠点で事業を継続します。同拠点は、アルジェニクス社のペプチド創薬拠点となります。UNP 社は、アルジェニクス社と合意した戦略的枠組みの下で、引き続き創薬研究を主導します。アルジェニクス社は、臨床開発および商業化の能力を活用し、これらの医薬品を患者さんに届けるための取り組みを推進します。

取引条件
アルジェニクス社は、手元資金による 5 億 5,000 万米ドルの契約一時金と、特定の開発および薬事上のマイルストーンの達成を条件とする最大 5 億 9,500 万米ドルの支払いにより、UNP 社を買収します。買収対価の総額は、最大約 11 億 5,000 万米ドルとなる可能性があります。

本取引は、両社の取締役会によって承認されています。本取引は、クロージングの条件が満たされることを前提に、年内に完了する予定です。

アドバイザー
Morgan Stanley & Co. LLC はアルジェニクス社の専任財務アドバイザーを、DLA Piper LLP は同社の法務アドバイザーを務めています。Latham & Watkins LLP は UNP 社の法務アドバイザーを務めています。

その他の詳細は、アルジェニクス社から発表されたプレスリリースをご覧ください。

アルジェニクスジャパン株式会社について
アルジェニクスジャパン株式会社は、ベルギー・ゲント市に本拠を置くアルジェニクス社の日本法人です。免疫学イノベーションカンパニーであるアルジェニクスは、深刻な自己免疫疾患に苦しむ人々の生活の向上に貢献することに取り組んでいます。独自の免疫学イノベーションプログラム（IIP）を介して主要な学術研究者らと協業し、免疫学領域における画期的な発見から世界的な新規抗体医薬品ポートフォリオを生み出しています。
アルジェニクスは、米国、日本、イスラエル、EU、英国、カナダ、スイス、中国等で初めて承認された抗胎児性 Fc 受容体（FcRn）抗体フラグメント製剤を開発および販売して参りました。当社は更に、多くの重篤な自己免疫疾患に対してエフガルチギモドを評価していることに加え、注力している治療領域で、複数の新しい品目について早期の研究開発を進めております。
アルジェニクスジャパンの詳細については、www.argenx.jp をご覧ください。

本件に関するお問い合わせ先
アルジェニクスジャパン株式会社　広報担当
TEL :080-1909-3114　E-mail : jp.communication@argenx.com

※本プレスリリースは、国内の報道関係者の方々を対象に、アルジェニクスの企業活動に関する情報を提供しています。一般の方に対する情報提供を目的としたものではありませんのでご了承ください。また、本プレスリリースには、医療用医薬品や開発品の情報を含みますが、これらは医療用医薬品や開発品のプロモーションや広告を目的とするものではありません。